記者発表資料

平成２２年１２月２８日
仙台河川国道事務所
宮 城 県 河 川 課

広瀬川で濁水（赤色）が流下

［終報］

１２月２４日１０時０５分頃、広瀬川に赤い水が流れているとの一般の方からの情報を受けて、関係機関において情報収集を実施して参りました。
本日１４時より、仙台市下水道管理センターが発生元である雨水管の鉄サビについて除去作業を開始致します。
なお、２４日の赤水流下に伴う河川への影響については、水質分析の結果、人体や魚類等への影響は無いものと判断されます。

※下線部分が追加情報です

１．事故の概況
・発生場所：太白区向山２丁目地内（雨水管排出口）
・発生時間：不明
・発生原因：雨水管等の鉄サビ

２．現地確認時の状況
・別添の写真参照

３．現在までの状況（[12/28] １４時００分現在）
・愛宕大橋付近で採水（[12/24] １１時１０分）し仙台市衛生研究所にて１検体分析中
（主な分析項目：ｐｈ、COD、ＳＳ、金属類）

《分析結果》
ｐｈ（酸性、アルカリ性の度合い）・・・・・・・・・7.0（H21 年平均値 8.0）
ＣＯＤ（水の中に含まれている有機物の汚れ）・・・・5.0mg/l（ 〃 未測定）
ＳＳ（水中の不溶性の微粒子の量）・・・・・・・・・36mg/l（ 〃 2mg/l ）
ＴＯＣ（水中に含まれる有機物中の炭素量）・・・・・2.6mg/l（ 〃 1.0mg/l）
※ＳＳが多少高い値であるが、他の項目は通常値の範囲内である。
※金属類の分析結果は下記参照。

［１２月２４日の状況］
・仙台市下水道管理センターが向山２丁目地区の雨水幹線のを調査を１２時から１６時３０分まで行ったが、発生原因となる異常が確認されませんでした。なお、月曜日に再度調査を行うこととしております。

・河川巡視において河川への異常は確認されておりません
（流入地点及び愛宕大橋上流～広瀬橋までを宮城県が実施）
１０時１５分～１３時まで
（広瀬橋～名取川河口までを仙台河川国道事務所が実施）
１１時００分～１３時まで
（広瀬橋～名取川合流部までを仙台河川国道事務所が実施）
１５時３０分～１６時４５分まで

［１２月２５日の状況］
・河川巡視において、河川の濁水や魚の死骸等は確認されませんでした。
（広瀬橋～名取川河口までを仙台河川国道事務所が実施）
８時３０分～９時４０分まで

［１２月２７日の状況］
・仙台市下水道管理センターが１４時から１６時３０分まで雨水管等を調査した結果、自然水（地下水）等による鉄サビ（大きい鉄コブ）が大雨による流速の変化によって洗われて流れ出したものが赤水になったと考えられる。

・仙台市環境対策課が愛宕大橋付近で採水（[12/27] １１時１５分）し仙台市衛生研究所にて１検体分析中
（主な分析項目：ｐｈ、COD、ＳＳ、金属類）

《分析結果（12/24及び12/27採水分)》
・別添の分析結果表参照
・２７日に採水した水の水質が、通常の状態と言える。
２４日採水した赤水について、２７日に採水した水（透明）と比べて、全鉄の濃度が高いことから、浮遊性物質が鉄を多く含んでいると考えられる。それ以外の項目については、２４日と２７日の結果に大きな差はなく、通常の値の範囲内である。

・河川巡視において、河川の濁水や魚の死骸等は確認されませんでした。
（流入地点及び愛宕大橋上流～広瀬橋までを宮城県が実施）
９時００分～９時２０分
（広瀬橋～名取川河口までを仙台河川国道事務所が実施）
９時２０分～１０時４５分

［１２月２８日の状況］
・愛宕大橋付近で採水（[12/27] 分）し、分析結果が出ていなかった２項目（全窒素・全りん）を含む最終結果は、別添の分析結果表参照。
→鉄については、環境基準が無いことから、水道水等の基準から判断すると、人体への影響は無いと判断されます。また、魚類への影響についても漁協へ確認した結果、影響が無い旨情報をいただいております。

＜参考＞
・水道水基準(溶解性鉄)0.3mg/L（出典：水道法水質基準）
・健康に危険のない溶解性鉄基準2.0mg/L
（出典：水道法水質基準）
・漁協確認先：広瀬名取川漁業協同組合　伊藤理事

【今後の対応】

・仙台市下水道管理センターが、本日１４時より太白区向山２丁目地内（長徳寺付近）において雨水管に残っている鉄サビの除去を行います。

・引き続き関係機関間の情報共有を図って参ります。

※現在まで、河川での異常は確認されておりませんが、魚の死骸等を発見された場合は、下記に連絡をお願い致します。

※発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会

問い合わせ先

名取川水系水質汚濁対策連絡協議会事務局
国土交通省　仙台河川国道事務所
仙台市太白区郡山５丁目６－６

河川管理課長　畑山（ハタヤマ）　作栄（サクエイ）　Tel (022)-248-4131

宮城県河川課
仙台市青葉区本町３－８－１

主幹（班長）　工藤（クドウ）　淳一（ジュンイチ）　Tel (022)-211-3172

主事　渡部（ワタナベ）　憂紀（ユウキ）

仙台市環境対策課
仙台市青葉区一番町４丁目７-１７小田急仙台ビル９Ｆ

主幹（係長）　早坂（ハヤサカ）　昇（ノボル）　Tel (022)-214-8223



「この地図は国土地理院長の承認を得て同院発行の
五万分の一地形図を複製したものである。
（承認番号）平12.東複第 444 号」
名取川管内図
[12/24] 10:15
愛宕大橋付近の状況
雨水管排出口
[太白区向山2丁目地内]
[12/24] 11:20
広瀬橋付近の状況
[12/24]10:30
雨水管排出口の状況
広瀬川
名取川
[12/24] 12:00
名取川橋付近の
流下を確認
仙台市
青葉区
若林区
東北地方整備局仙台河川国道事務所
北海道地図株式会社仙台支店
電話 (022) 261−0157

水質検査（仙台市環境対策課が採水し、衛生研究所にて水質検査）

採水場所：愛宕大橋付近（愛宕橋直下）

採水日時：平成 22 年 12 月 24 日（金）11 時 10 分

平成 22 年 12 月 27 日（月）11 時 15 分

【検査結果】

項目	12 月 24 日（金）	12 月 27 日（月）	平成 21 年度平均
pH	7.0	7.2	8.0
SS	36	4	2
COD	5.0	2.1	
TOC	2.6	1.1	1.0
銅	0.03 未満	0.03 未満	
亜鉛	0.008	0.007	
溶解性鉄	0.2	0.1 未満	
溶解性マンガン	0.1 未満	0.1 未満	
全クロム	0.03 未満	0.03 未満	
カドミウム	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
鉛	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満
ヒ素	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満
全鉄	4.2	0.3	
全マンガン	0.1 未満	0.1 未満	
全窒素	0.80	0.69	0.45
全りん	0.142	0.026	0.031
アンモニア性窒素	0.05 未満	0.05 未満	
亜硝酸性窒素	0.005 未満	0.005 未満	
硝酸性窒素	0.58	0.62	
透視度	16	＞50	

単位は、pH および透視度以外は（mg/L）である。

【検査結果について（27 日 17 時の時点まで）】

- 24 日に採水した水では、溶解性鉄（水中の浮遊性物質を除いた水に溶けている鉄分）に比べて全鉄の濃度が高いことから、赤色の原因である浮遊性物質が鉄を多く含んでいると考えられる。
- 鉄以外の項目については、同地点による過去の測定データおよび 27 日採水の水質※と比べて、通常の値の範囲内にあると言える。

※27 日の採水時に赤水の流入が見られなかったこと、また透視度が十分に高かった（＝透明）ことから、27 日に採水した水の水質は通常の状態であると考えられる。

【28 日に判明した結果について】

- 28 日 14 時に 27 日採水分の全窒素および全りんの測定結果が出たことで、すべての水質検査結果がそろった。全窒素および全りんは水の富栄養化を表す指標であり、今回の値は通常の値およびその変動範囲内にあると言える。